



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2015～2016年度 RI会長 K. R. ラビンドラン
RIテーマ 世界へのプレゼントになろう

クラブテーマ「明るく楽しいロータリー」会長 鈴木政則

副会長 中山和雄 幹事 石井邦夫

第1261回 例会
2016.1. 22(金)晴

司会:山口辰哉君 指揮:勝又佳員君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 鈴木政則君

先日の1/16、地区職業奉仕セミナーが甲府の県立図書館で開催されました。当クラブからは山本ガバナー補佐と職業奉仕委員長の加藤さんそして私で参加させて頂きました。セミナーはミズノ株式会社社長水野正人様から「五輪開催と職業奉仕を考える」をテーマに講演して頂きました。水野様は2011年から2012年度まで東京ロータリークラブ第2580地区のカバナーをなされました。そのお話はロータリーのこと、日本のこと、前をしっかりと見すえた大変意義のあるもので、私自身とても感銘を受けました。その内容、かいつまんでですが少しお伝えさせて頂きます。色々な奉仕団体はたくさんありますが、職業奉仕をうたっている団体はロータリーだけです。ロータリークラブは職業奉仕を中心に進めて行かないと駄目だということ強く云っておられました。アメリカでは売ってよし・買ってよしだけでとおる事も、日本では売ってよし・買ってよし・世間良しの三法良しなくては企業は上手く行かないと云っておられました。とても信用が大事なのですね。又、人類をおびやかすのは環境・流行・経済の三つだという事、その中の環境は地球温暖化の問題、そして流行とはウィルスの問題、鳥インフルエンザは今は鳥から鳥ですが、今後鳥から人間にウィルスが移行するであろうという事、もう一つ危ないのは世界経済であり、日本がリードをとって行かなければならないという事、それというも、東日本大震災であれほどの災害にまわられているから、忍耐強く堪え忍ぶことのできる日本人のその底力は凄いんだから・・・。そんな日本人が力を発揮する事ができる東京オリンピックが2020年に開催されます。オリンピックの成功も大事ですが、一番大事なのはその10年後の2030年、日本がどうなっているかという事だとおっしゃっていました。シドニー大会の10年後は観光客も増え素晴らしい国となりました。ところがギリシャの10年後はどうでしょう。破たん寸前です。又、中国はといいますと、2018年で10年になりますが、環境は悪いし、経済も冷え込んでいます。この様な例を参考に東京オリンピックの10年後を考えたら新たなビジネスに取り組まなければならない、各企業それぞれの今の職種に健康と環境を取り込んで行かないと将来が見えてこないとおっしゃっていました。その為には高い専門職の集まりであるロータリーの存在が大きく、ロータリーアン同士が情報交換をし、良い

コミュニケーションをとり、お互いより良い方向へ、又、より良い会社へと伸びて行く事を望んでおられました。水野様のお話を伺い、ロータリーアン一人一人の心がけが日本の将来を明るくしていけるのだという身の引きしめる思いと、改めてロータリーの素晴らしさを痛感致しました。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

小野田千也さん
伊牟田智也さん

出 席 報 告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	29/35	82.35%	33/35	94.29%
今回	25/35	71.43%	会員総数	37名

欠 席 者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、石井(邦)君、石井(司)君、遠藤君、杉山(順)君、杉山(隆)君、原君、兵藤君、宮澤君、山口(雅)君

おめでとー

会員誕生日	1月19日	片野誠一君
	1月26日	澤田 稔君
入会記念日	1月15日	片野誠一君
	1月25日	久保栄子君

今日の料理



卓話

加藤正幸君

＜せせらぎ三島ロータリークラブ献血セミナー＞

講師 静岡県赤十字血液センター・
沼津事業所 小野田千也 様

①献血と輸血の現状

このまま献血者が減り続けると・・・
みなさんが大人になる2027年には必要な献血者数がピークを迎えます。
必要な献血者数がピークを迎えます。
その時には献血者が89万人不足すると予測されます。
輸血用血液を使う人と献血する人の差はその後さらに広がります。

輸血の使用状況

- ・がんの治療 → 38.4%
- ・内科的病気の治療 → 44.8%
- ・交通事故などによりケガの治療 → 3%

②献血の基準

年代別にみる輸血の割合

- * 輸血を受ける患者さんの85%は50歳以上
- ・50～59歳 → 9%
- ・60～69歳 → 44.8%
- ・70歳以上 → 55%

400mL献血にご協力を！

人間一人一人の血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違ってきます。このため複数の献血者からの血液を合わせて一人の患者さんに輸血するほど、副作用発性の可能性が高くなります。

* 献血者の皆様には可能な限り400mL献血へのご協力をお願いしております。

＜400mL献血＞

- 年 齢 男性:17 ～ 69歳
- 女性:18 ～ 69歳
- 体 重 男女とも50Kg以上
- 血色素量 男性:13.0g/ dL以上
- 女性:12.5g/ dL以上

* 65歳以上の方の献血については60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

③輸血用血液の種類

- 「全血製剤」
保存温度:2～6℃ 有効期間:採血後21日間
- 「血小板製剤」
保存温度:20～24℃ 有効期間:採血後4日間
- 「赤血球製剤」
保存温度:2～6℃ 有効期間:採血後 21日間
- 「血漿製剤」
保存温度:－20℃ 有効期間:採血後1年間

④検査サービス通知

- ・血液型のお知らせ
- ・検査成績のお知らせ

⑤終わりに・・・

献血は「命をつなぐ尊いボランティア」です。
献血をすることで本人、家族、友人または周りの人など必ず誰かのためになっています。
病床で苦しむ多くの患者さんの為、献血へのご協力をお願い致します。



スマイルボックス

- 片野誠一君:誕生祝いありがとうございます。
勝又佳員君:1月20日誕生日を迎えました。還暦と報告しましたが、なんと59歳でした。すみません。少し得をした感じです。
内田憲一君:休みが多くすみません。また、今日早退させていただきます。
岡 良森君:先週日曜日、伊豆急の創業時100系列車に乗って来ました。開業昭和36年とのこと。ついでに下田宝福寺にも行って来ました。
澤田 稔君:今年もなんとか生きていて出席出来ました。今年度はホキメキを作るべくしっかりアタックしてまいりたいと思います。今後ともご指導願います。
加藤正幸君:本日、職業奉仕月間卓話です。赤十字血液センターの小野田様よりお話をいただきます。よろしく願います。
仲原実圭君:すみません！早退させていただきます。

